

個性のネットワークで 魅力あるタウン・ショッピング創りを

■座談会出席者（敬称略・順不同）

島田 誠（〓 磯海文堂書店・社長（元町商店街）〓）

中西 省伍（〓 榎サロン・デ・モード中西・社長（トアロード）〓）

植村 孝一（〓 マック榎・社長（三宮センター街）〓）

崔 康來（〓 ブティックコーシン・店長（生田前筋商店街）〓）

ものを売るのが難しい時代と言われます。特に若い世代を中心に、ものを買う行為自体が一つのライフスタイル、ひいては文化であるという意識が高まってきますと、単に店に商品を並べただけではなかなか振り向いてはくれません。そんな中で、各店各社ともライフスタイルやイメージを提案しながら商品を演出していくという方向へ大きく動き出しているように思えます。特に「ファッション」「文化」を提唱する神戸にとって、これは大きな課題ではないでしょうか。

そういうわけで、本日は神戸の各商店街の若手の方々にお集り頂き、それぞれ誘客を促進するためにどのようなアイデアで町づくりを進めておられるかおろかがいしいと思います。

個店から商店街へ、さらに神戸全体へ

——まず、神戸の主な商店街が集まって作っておられる

「神戸都心商業青年協議会」（ネットワークコーベ21）ですが、これは主にどんな活動をされているわけですか。

島田 最初は勉強会からスタートしたんです。それぞれ仕事をしている中での問題点を出し合ったりしてね。そこから共通項の部分の浮び上がらせて、一緒に解決していこうというわけです。そうしているうちに、それがだんだん大きな集りに広がってきましてね、神戸の都心はどうあるべきか、という大きな問題を考えるようになったんです。今では、神戸祭りだとか開港120年祭のイベントの企画なんかもやっています。まあ、単なる情報収集の場から、何かやろうという具体的な活動体へとステップアップしたというわけです。

各商店街が抱えている悩みの中には、各々で解決すべきものもあるんですが、共通のものもあるんです。例えば人材の問題。どういう形で将来の青年経営者を育てる

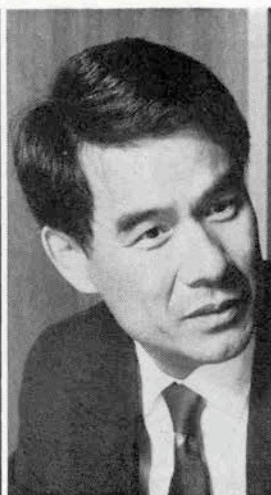
かです。それとか道路に関する問題もそうです。各商店街でイベントをする時に道路も使用するわけですが、その使用許可の申請などに関する問題です。そういう諸問題をアンケートなんかであぶり出し、みんな考えていこうというわけです。そこから単なる問題処理の



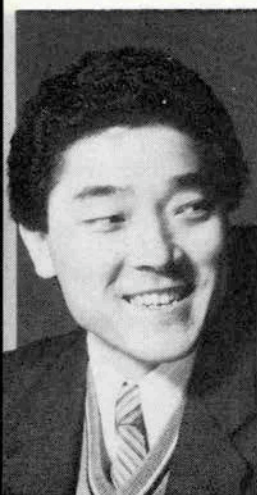
島田 誠さん



中西 省伍さん



植村 孝一さん



崔 康来さん

場ではなく、もう一步進んで全体の繁栄のためにみんな力を合わせて何かやっていこうという方向に変わってきただです。

植村 これは非常にいい動きだと思えますね。各商店街とも、みんなまとまっていそうではそうでもない。うちのセンター街もいまだに1、2、3丁目に分かれています。今ももうそんな時代じゃないですよ。

中西 トアロードもそうです。3つに分かれています。なかなか交流がない。今は、高架から南と北、そして生田新道から上に分かれています。それぞれ全く性格が違っていますよ。うちの山手会は道路をきれいにする程度ですが、他のところは駐車場なんか経営してるところもありますからね。だからなかなかまとまりにくいんです。僕がネットワーク21に参加しようと声を掛けても、どうも腰が重い。年配の人が多いせいでしょうか、活気がないんですよ。

崔 うちなんかは過去2年間、ずっと街づくりというところで考えています。例えば、地下鉄開通に合わせて街をきれいにしようということで、青年部会なんかでは朝の5時ぐらいまでバスとにらめっこして会議をしてましたね。どちらかというと、そういった街頭整備のようなハードウェアの面を中心に予算を使っています。最近では、乱立する看板や街頭販売をなんとか規制したいというところで、管理委員会なんかも作っていますが、いずれも商売に直結しているだけになかなか難しいですね。

島田 理想的には個店が各商店街の振興組合へ、さらにそれがネットワーク21へとつながっていくべきなんです。今、今のところまだ個店のレベルを脱していないですね。元町なんかは、最近かなり危機意識が出てきてまともなところがあるんですが、それでも一挙にネットワーク21まではいかない、せいぜい各商店街ですよ。ネットワーク21もまだ単なる情報交換の部分が大きい。本格的に動き出すまでにはまだまだ時間がかかりそうです。最終的には、いろんな機能分担をしていく場であるべきなん

です。

——神戸は、大阪や京都に比べてかなり早く、13年前から掲げている「ファッション都市」が市民レベルまで浸透してきています。これは非常に強いことです。もちろん理想からはまだ程遠いわけですが、神戸の良さみたいなものはどうですか。その売り出し方というか、戦略の立て方などは。

崔 南京町と異人館を全面に打ち出すべきですね。横浜には中華街はあるが異人館はない。両方あるのは神戸だけです。最近さまざまな商業施設ができてますが、南京町は土着的に力を蓄えていますね。これは非常に心強い。北野の場合は、ちょっと前評判が先行している感じで、商圈というよりは夢の部分ですね。商業そのものとしては神戸も大阪も同じだと思うんです。北野と南京町をもっと観光的に売り出して、ついでに買いいものをして帰ろうか、という雰囲気にもっていくべきですね。

——ファッション都市としてはどうですか。

中西 今の崔さんの話は、中にいるとわかりにくいことですね。ファッションの面を言いますと、ハードな面だけを作ってもだめなんですよね。もっと内から、生活ベイス、市民サイドでソフトを作っていくべきです。それが本当のファッションだと思っんです。そういつた、生活とつながったファッションの実践、これが必要なんです。例えば、サラリーマンやOしたちがアフターファイブにぶらりと歩けるような所ってあまりないでしょう。情緒のある場所がありません。トアロードももうちょっと整備して、文化的なイベントを楽しみながら食事もできる、そういう空間にすべきですよね。神戸全体がそういう方向に衣替えして欲しいですね。

植村 小売の面で考えると、もともと元町が先にあって、三宮などは後からできたわけでしょう。だからすごく対抗意識があるんですよ。でも今はそんなこと言っている場合じゃないですよ。神戸の中なんて小さい。大阪じゃ北と南が熾烈な戦いを繰り広げてますからね。それ

に比べたら小さいですよ。

今の神戸を見ますと、やはりそごう、大丸が大きな核になってますから、商店街というのはその間を結ぶモールに徹するべきだと思うんです。そして、百貨店、商店街がそれぞれ自分のパーツを受けもちながら神戸全体を構成していく、そうでなければ大阪の商圈に対抗できないですよ。

それから、土地の人はもともと自分で商売することを考えることですね。外部の人々に土地を貸した方が儲かるのは儲かるかも知れませんが、それじゃ神戸の個性は育ちませんよ。特に大資本が入ってきてナショナルチェーン店なんか出されたら、もう他の都市と同じになっちゃう。本当に神戸らしい店というのは、やはり土地の人にしか作れないんじゃないでしょうか。そういう意味で、まだ今のところ神戸は他の街とちょっと違うところがあって、神戸らしい商品しか売れないから安心していいんです。その部分はぜひ残しておいて、神戸らしい商品や販売方法を考えたいですね。

もう一つつけ加えると、神戸から東京へ進出して失敗した例ってあまりないんです。けれどもそれをやりすぎると街の味が薄れてきちゃう。だから基本的には、神戸の商品は神戸でしか売らないようにした方がいいと思っんです。経営的にもね。

街のアイデンティティの確立を

島田 植村さんのいう通りですね。機能分担ですよ。各店や商店街のカラーをもう一度見直して、それぞれどこにその存在価値があるのかじっくり考えるべきですね。そして、お互いの良さ、個性を出し合って全体として調和のとれたものにする。それで初めてお客さんにいるんな味を楽しんでもらえるんじゃないでしょうか。その点では今はまだ未消化ですね。

元町は商店街が長いだけにどうも凝んで停滞している。それに若い人たちが活躍できるような流れを作ろう

というのがネットワーク21なんかの動きなわけですが、おかげ様でかなり流れは出てきましたね。今度はそれを「うねり」にもっていきたい。南京町も大きなパワーになりましたが、今後もっと大きくなって欲しい。

それから、例えば最近「神戸港を考える会」が頑張ってますが、神戸にある近代洋風建築を見直して保存して欲しいですね。そういったいろんな運動が合流すれば、魅力ある街になるんですが。

植村 今「アイデンティティ」という言葉が流行ってますが、何か大きな目標、神戸の街のアイデンティティをしっかりと決めて、それを実現するための機能分担をする、そのためのネットワーク21であるべきなんです。今はそれを仕掛ける時なんです。それがうまくいけば神戸も生き残れますよ。

——どんな大きなビジョンを作るか、まず知恵を結集することですね。一回や二回のシンポジウムではなく、「神戸を考える」のテーマで連続性をもたしてやっていかないと。やはりイメージ作りが大切なんです。そのためは何をすべきかですね。神戸は、イベントはよくやるんですが、じっくり練って効果的なものをやって欲しい。「ファッション」とか「コンベンション」とか「スポーツ」とか、いろいろ形容詞はついているんですが、この開港120年という節目にもっと大きなビジョンを持ちたいですね。何かいいプロジェクトは考えられないでしょうか。そのためなら本誌も労をいとませんよ。

植村 それを具体的に考えることが急務ですね。——例えば京都で言うと、「祇園祭り」などは町衆で取り仕切ってるでしょう。そういった町衆的な意識は、やはり京都のような伝統ある街と比べると乏しいですね。そういう意識をもっと盛り上げて爆発させることはできないでしょうか。例えばファッション面からアプローチしてみるのはどうでしょう。先程、ソフト面が不足しているという話も出ていたわけですが。

中西 市にもっと頑張ってもらいたいですね。神戸市は

いろいろアクティブにやってはいるんだけど、もう少し的確な考え方もあって欲しい。発想を変えてね。

「ファッション都市」と言われた時から、自分の仕事にもつながるのいろいろな提言してきたわけですが、例えば、あまりたくさんビルを建てすぎると神戸っぽさってなくなってくると思うんです。そういう方向で開発しても、どうせ東京や大阪にはかなわないわけだからもって神戸っぽい形で発展していく方がいいと思う。つまり、いきなり神戸全体を一つにまとめちゃうんじゃないで、まず個々の店や商店街がそれぞれの個性を出し合って、それが自然につながるようにもっていくわけです。ファッションも行きつくところは個性ですから、街並も個性化していくことで「ファッション都市」を実現できるのではないのでしょうか。自然な形のネットワークを組むことですね。

さっき話に出た町衆意識というのは面白いですね。単なる理念だけじゃなくて、そういう意識を盛り上げて実行に移すことです。もうそろそろ、その方向へ転換すべきだと思えます。そうしないと神戸の匂いというのは出来上ってこないと思う。もう市をあてにしているだけみたいですからね(笑)。

——他の街よりも、神戸が一步抜き出るにはどうすればいいでしょうか。

植村 具体的に言うと、例えば同じ商品でも他と違う印象を与えるような品揃えとか販売方法を考える、つまり商品の演出ですね。それには、少くとも一店に一点以上はオリジナル商品を作ることです。

それからライフスタイルの提案。神戸の人間ってこんなにカッコいい生活してるんだぞ、というところをもっと宣伝することですね。実際神戸の人って遊ぶのうまいと思いますね。お金なんかあまり使わなくてもけっこうみんなスマートにエンジョイしてますよ。結局、時間の使い方とか、人と人のコミュニケーションの仕方とかいうのがうまいんでしょうね。そういう生活のスタイル

がもっと市民レベルに根づいてくれば面白いと思う。それには、神戸で生活している人たちのいろんなサークルをいっぱい作る事。そしてそれが街全体につながる。いけば、もっと神戸的なライフスタイルというものが浮び上ってくると思うし、神戸のイメージがアップすれば商品だってもっと売れますよ。

崔 自分のところにはないオリジナル商品ということになりますと、うちのように仕入れだけやってたのでは不可能ですね。ずい分前から、セミオーダーのようなものができないかと考えているんですが。

それから、やはりうちはうちだという店がもっと増えることですね。トアロードなんかは、今は苦しいかも知れませんが、もっと神戸の個性を出していける可能性はあると思うんです。売上げオンリーの商業地区じゃないですからね。何か新しい情報を発信しそうな気がする。

——私も最近、いろいろストリートを見て回っているんですが、どこの店を見てもあまり変化がないですね。ずっと同じ形のままで変化がないような気がするんです。まあ毎日というのは無理でも、せめて月に一度ぐらいは店の装いに変化をつけていくことはできないんでしょうか。もちろんあまりお金のかかることはできないでしょうが、例えばウインドアートのコンクールをやるとか、割合簡単にできる方法でも店の外観に変化をつけていくことはできると思うんです。ちよっとした気のきかせようですね。

島田 元町ではクリスマスに飾りつけコンクールをやったこともあるんですが、なかなか理解してもらえないんですよね。ちよっとしたことでも、みんながその気になってやれば、全体としてはかなり大きな変化になってくるんですが、なかなかそこまではいかない。

これからは、やはり店も自己主張をしていかなきゃだめだと思っんです。自分のところはこういう店ですよ、ここが違うんですよ、ということをいろいろ工夫して主張できない店はいらないんですよ。消費者にとっては

元町も昔はよかったですよ。外国の文化が一番早く入ってきたところですからね。いわば「ハイカラ文化」の発祥の地で夢がありましたね。いろんな形で文化の提案をしてましたよ。商売の問題じゃなくてね。その頃と比べると、今は元町から発信されるものなんて何もありませんよ。老舗の店が多いですから、確かにお客さんは大勢来ますけどね。でも、だんだん魅力のない場所になってきているんじゃないかという危惧は日に日に高まってますよ。さつき植村さんや崔さんがおっしゃったように、その店独自のものを打ち出していく迫力がないとだめだと思いますね。

市も新しいものにはすぐに飛びつくんですが、既存のものにはあまり目を向けてくれない。やはり、今の神戸の文化のベースになっているものは何か、ということをもっと行政レベルでも考えて欲しいですね。神戸の本当の神戸らしさっていうのは、けっして新しいものの中にあるのではなく、昔から脈々と続いている部分にあると思うんです。そのことをもっと理解してもらいたい。

——そうですね。
やはり、神戸の良さは人柄の良さだと思うんです。「モダン」だとか「ハイカラ」だとか言われるわけですが、いずれにせよ、それらを支えているのは良質の精神文化であり、これこそ神戸の切り札だと思います。いろいろ論は尽されているわけですから、あとは実行あるのみ。この開港100年の機会を逃さないように、みんなで連体してアクションに転じたいですね。

(レストラン プラン・ドゥ・プランにて)

ネットワークコーベ21(神戸都心商業青年協議会)は、神戸都心の商店連合会が集まり、商店経営上のさまざまなノウハウの勉強会、情報交換の場として昭和60年の10月に発足した。現在では、三宮センター街、トアロード、元町商店街など14の商店街と5つの百貨量販店が参加。神戸商工会議所のバックアップを受けて活動している。

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111



経済ポケット ジャーナル

★神戸の味の台所、新顔で

4月よりオープン
神戸市中央卸売市場が、昭和52年より行ってきた新本場建設が、この3月に完成し、4月より本格的に使用が始まることになった。



新本場全景

新本場には、1300台分の駐車場が造られ、従来作業時は、道路が大混雑していたのを、一挙に解消される。

また流通の経路も整備されたために、卸売・仲卸もスピードアップされ、神戸市民の台所に、より新鮮な食物を提供する。

★新鮮さ、そのまま瓶詰め
灘の酒「白鶴」が、新酒の季節に限り、特別限定新酒「しぼりたて」を発売し

た。



しぼりたて

1・8ℓが1650円で搾ったばかりの新酒を飲んでみたい酒通の方に、新酒ならではの芳醇な味とさわやかな香りを約束する。厳寒の新酒の季節(1・2月)に限定した商品で、まさに嗜好家の待ち望んでいた酒と言えよう。限定販売なので、お求めはお早く。

★ポートピアプラザに生活舞台ハヴィヴァン誕生
ポートアイランドの市民広場駅より徒歩3分の地に、一等生活舞台ハヴィヴァンが建設される。



ヴィヴァン完成予想図
台ハヴィヴァン生活舞台

3月末にはモデルルームがオープンし、4月よりB棟の販売が始まる。



棟の販売が始まる。

B棟は鉄骨鉄筋コンクリート造地上25階建てで、17戸の住居が40タイプに分かれている。また24時間防災管理センターが動いており、住民の安全を保障している。各所にクオリティが追求されており、まさに「生活舞台」と呼べる空間が存在する。

★新情報は大画面から
昨年11月にオープンした



ラポルテボード

芦屋駅前「ラポルテ」に、また新たな「目玉」が誕生することになった。

その名も「ラポルテボード」で、赤、白、青、緑の

四色で色彩豊かな画面を提供する。12秒ごとに画面は変わり、市政ニュース、お買物情報、タウンガイド等の様々な情報を流す。

駅前広場は2Fがデッキになっており、ラポルテボードは、このデッキから最も見えやすく、1日平均2万人以上の人々の目にふれる予定である。

★今秋、ハーバーランドへの地下街着工

国鉄淡川貨物駅跡地を中心に建設される予定の「ハーバーランド」と国鉄神戸駅とをつなぐ、新しい地下街の建設が、神戸市都市計画審議会で認可され、今秋には、まず地下道の建設が着手されることになった。厳しく規制されていた地下街だが、規制緩和後全国初めての地下街になる。

★KOBEOフェイスレディ★ 三浦綾子さん(21)

〈キッコマン株式会社〉
〈神戸営業所勤務〉



「幸せって何だっけ、何だっけ…」と唄う、さんまのポン酢を売り出しているキッコマン神戸営業所の、最年少女子社員が三浦綾子さん。開口一番「料理を食べるのも、作るのもしんどいから、去年、武庫川女子大の栄養学を卒業し、料理は本格派である」と語る通り、昨年、武庫川女子大の栄養学を卒業し、料理は本格派である。男性は、誠実で親分肌の人で、楽しい会話のできる人が理想とシビアな意見と吐く、理性派でもある。一見、おもしろいO型、おもしろい座。

およばれの
ための装い



着つけ・畑尾美久子



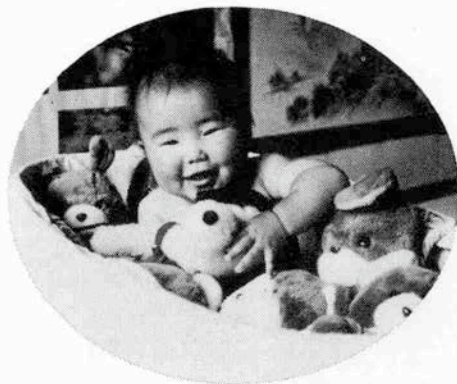
美容室 **エリザベス**

本店 / 神戸市中央区三宮町2丁目6-4(三上ビル)
TEL (078) 331-8894・4917

お貸衣裳 **花嫁衣裳サロン**

東京・遠藤波津子直流 関西唯一人者 畑尾美久子の店
一本店と同じ(三上ビル)一 神戸市中央区三宮町2丁目6-4
TEL (078) 331-3258

こんにちは赤ちゃん



東 里沙ちゃん / 芦屋市竹園町

いつも男の子と間違えられます。
でもぬいぐるみ大好きな女の子ですよ。

完全看護★冷暖房完備★病院前公共駐車場有

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大柁町1番18号

芦屋保健所東隣

☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

空とぶじゅうたん Sprey を
考えたのだが……



なにを悩んでいるんで？

1

すごくないのじゃ



すごいじゃないですか

2

ききめがよわい

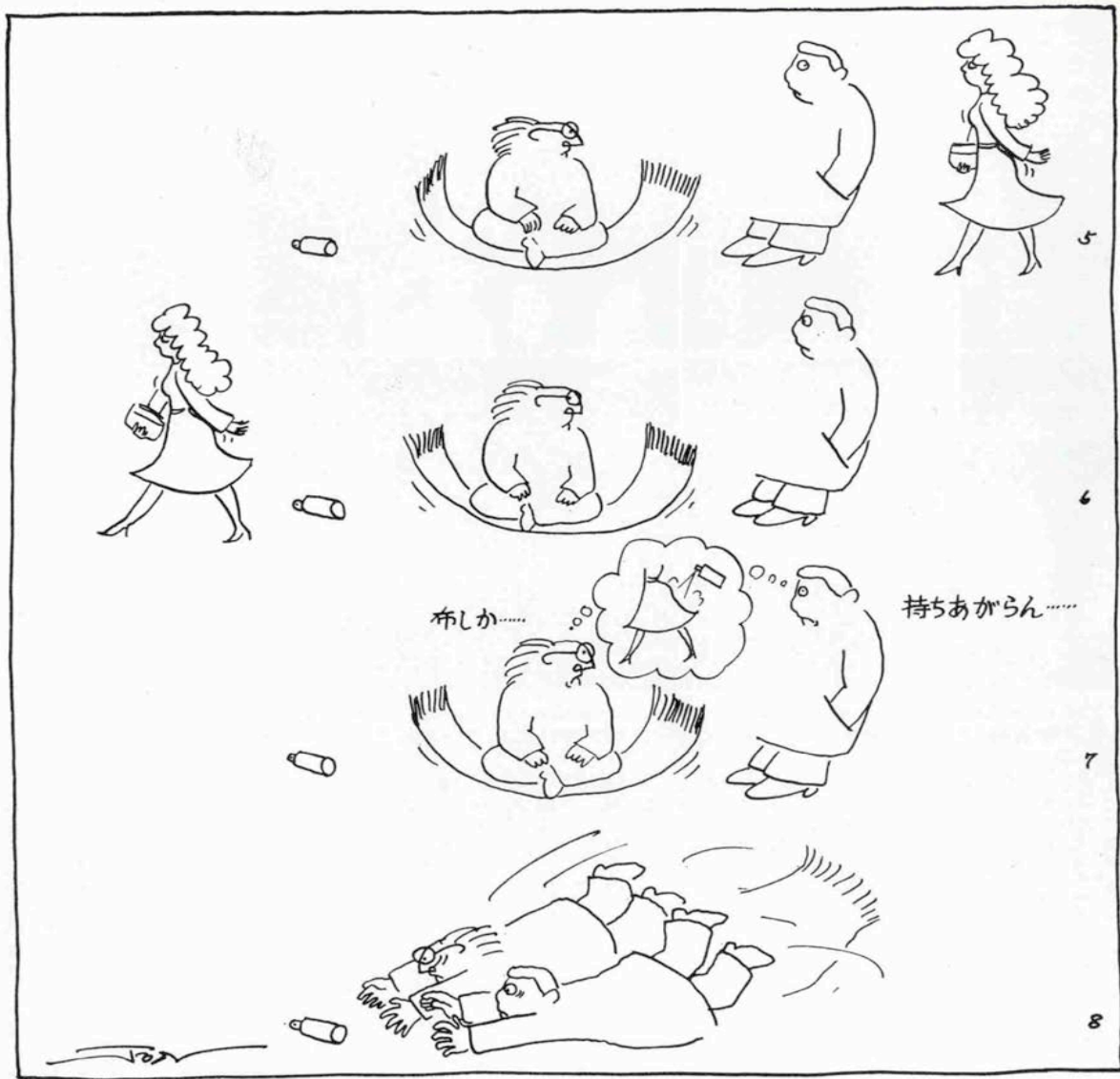


3

布しか持ちあからん
これでは役にたつたのではないか



4



5

6

7

8

話題のひろば

<1>

鳳蘭芸術祭受賞のお祝いと励ます会 ツレちゃん 受賞おめでとう

■鳳蘭芸術祭受賞のお祝いと励ます会



シカゴイメージのケーキをカット（左上）坂治彦宝塚歌劇団理事、荒木秀雄新阪急ホテル社長、鳳蘭、内海重典宝塚歌劇団理事、伊藤邦輔梅田コマ社長による鎌割り（右上）現役・OG全員で「すみれの花咲く頃」を（下左）陳舜臣先生を囲んで（下右）

日本を代表するミュージカルスター、鳳蘭が、昭和61年度演劇部門の芸術祭賞をミュージカル「シカゴ」の演技により受賞。祝い励ます会が、2月6日宝塚ホテルゴールドの間で、鈴木治彦氏の司会で開かれた。

当日は各界にわたるファン、宝塚歌劇団関係者ら250名余りがつめかけ「シカゴ」の劇中歌「おかしな二人」を歌いながら鳳蘭が登場。斎藤守慶毎日放送社長が「鳳」の名の通り、ミュージカル界で群鳥を従えて天空高い飛躍を」と激励したのをはじめ、小林公平阪急電鉄副社長、作家の陳舜臣氏、山口興一関西TV社長、友金信夫宝塚市長、小山乃里子さんが挨拶。衆議院議員の原田憲氏の音頭で乾杯となり、ハイジから「シカゴ」をイメージしたケーキ、出身校の中華同文から花束、星組のトップスター、峰さを理さんからツレちゃんの持ち歌「セ・マニフィーク」がプレゼントされた。

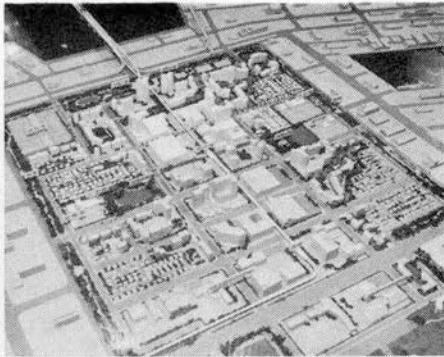
「宝塚退団後、人生経験豊かな8年間だった」というツレちゃんは「愛の讃歌」を熱唱。会場からは「亡き越路吹雪の後を継ぐ大スターに！」という想いを込めた拍手が沸き起こった。出席者全員で「すみれの花咲く頃」を歌いこれからの大きな舞台を楽しみに閉会となった。

話題のひろば

<II>

■「六甲アイランドシティー」
起工披露パーティー

“官”を母に “民”を父に



(左上) 左から参加企業代表の住友信託銀行神田代毅会長と積水ハウス神田鍋健社長、来賓の神戸商工会議所泉塚喜八郎副会頭、柏井健一同副会頭 (右上) 2000分の1の模型 (左下) 会場風景 (右下) 参加企業代表のアーバンライフ神廣瀬吉彦社長 (左)

ポーアイに次ぐ神戸第二の人工島、六甲アイランド。その都市機能ゾーンである「六甲アイランドシティー」の起工式が1月29日、現地の会場にて、また記者懇談会、披露パーティーが同日、ポートピアホテルにて開催された。

「六甲アイランドシティー」計画によると、総敷地31ヘクタール、総事業費は二千三百億円。68年度(予定)の完成時には、住宅施設をはじめ教育施設、公共スペース各種産業施設、新交通システムなどを完備した一大テクノポリスとなる。

また同計画は、官民一体のプロジェクトとしては日本で最大規模のものとして注目されている。参加するのは神戸市の他、住友信託銀行㈱、積水ハウス㈱など企業グループ10社。円高不況下だけに、この官民のクロスオーバーパワーに寄せられる期待は大きい。

披露パーティーでは、グループ代表の住友信託銀行の田代毅会長が、「本日の起工式で名実共に第一歩を踏み出した。このプロジェクトには「民活導入」と「新しい都市作り」という2つの意味がある。完成すれば良質の社会資本となり、神戸の活性化にもなる」と参加企業の使命を強調した他、各関係者とも次々に新しい街作りへの抱負を披露。同計画に賭ける意気込みと熱気をうかがわせた。



ソニアリキエルの「クロ」

で、コンタ
リートの円
柱の見える
正面玄関の
左手一階に
ソニア・リ
キエルを編
えたプティ
ックKUR
O(早瀬万
里子オーナ
ー・西村店長
219600)が
肉に凝るレ
ストララン
ビエール(2
40055)KO
BEBEEFの
のステーキ
はさすが。中
央の大理石
の扱いや、南
に広がる庭園
の眺めは美し
く、開放的な
明るさとリッ
ッチなムード
の菊地。天藤
コンビの設計
はいかにもKO
BE。ビエール
はナタリー・
モーダ(オー
ナー)日下洋
子(和佐店長
226818)、カ
ラフルな日下
さんの神戸タ
ッチの選択は
感性が素敵。二
階はフロアレ
ビジョンで春
の花を集めた
(奥平店長
225481)。三
階はフリー・
スペースでイ
ベントホール
。KUROの奥
手階段を上る
と、プティッ
ク大崎グラニ
ットクラブに
は春夏の靴が
勢揃い(小西
店長22838)。
サンタル・ト
ーマス(高店
長290022)フ
ロント(高田
店長212610)
など、ファッ
ションプティ
ックも、それ
ぞれ、神戸ら
しさを意識し
た色揃えが嬉
し。KKベア
ーズの菊地社
長の四十台に
なっているフ
ァッションビ
ルづくりに遊
び心と風格が
そなわってき
たよう。3月
31日に全店
がオープンす
る。

★KDCコレクション開催 チケットを20名様にプレゼント

KDC (KNIT DESIGNERS

COMMUNION)の春夏コレクションが5月7日(土)、大阪のMIDシアターで行われ

る。ニットメーカー10社が、今年の春夏方を入れている糸、トレンドとして設定されている糸を提供して、KDC会員がデザインした作品群。それぞれのメーカーが提案する糸、色、その素材の持つ特性を、KDC会員がど



昨年のショーより

のように消化するか、その表現力が見もの。ショーは3回。13時、16時、19時。

このチケットを16時を10名、19時を10名にプレゼント。お申し込みは、葉書に住所、氏名をお書きの上、神戸っ子「KDCコレクション」係まで。尚、詳しくお問い合わせは、島元忍氏まで(06)70338872

★大人っぽいフェミニンが今年の特徴「ファッションショー」開催

2月7日、県民会館ホールにて、神戸服装専門学校が学生作品発表を兼ねたファッションショーが行われた。テーマは「モダンコンシャス」。明日に向って



学生たちの自作自演

の新しい意識。意味だとか。まず米谷給子学校長があいさつ。「入賞作品以外の作品と私の生徒自身がモデルで

す。これからの技術の向上だけじゃなく、精神的にも成長してほしい。76点もの作品を、デザイン学科、和裁学科の学生たちが、パワフルに披露した。今年の傾向は、体型を意識した肩はワイド、ウエストはスリムなボディコンシャスだそう。全体的にだんだん女らしい路線にかわりつつある。色は従来のモノトーンに加え、きれいなマリンプルーやエメラ

★香りの家「オランダ館」で、JIN ABEコレクション発表

北野の新しい異人館「オランダ館」は、観光客に館内を公開するだけでなく、各種イベント会場としても利用できる。その第一弾として、2月7日(土)JIN ABEのショーが行われた。



大人のためのクチュールプラタ

行われた。彼はエマニュエル・ウングロのチーフデザイナーを経験し、現在はヨーロッパの伝統に、日本人らしいオリジナリティを加味したニューチュールの旗手として活躍。今年のスタイルは、去年よりひき続きボディコンシャスライン。女性の身体曲線を活かしながらも、着るとすっぽり身体になじむ、動きやすさの中にも美しいシルエットがポイントだそう。

★コーザノストラ、神戸上陸

東京の代官山に第1号店を持つコーザノストラが、北野に直営店をオープン。最近社はもともと服の製造のみだったが、同社小売りの販売も始めた。上着から靴や小物まで、トータルに揃えられる、魅力のブランド。春夏のカラーは、ベイスがアイボリー、アクセ



吉川百合子店長

がアイボリー、アクセ

セントがイエロー、ブルーだそう。20代後半から30代にかけての自立した女性に「着てほしい」と吉川店長。中央区山本通2-13-14番(078)2418446

'87 SPRING SERIZAWA COLLECTION

甘い春の妖精が、舞いおりてきました。



serizawa
KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL.078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■P-4 ショップ ■メンズセリザワ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI

私のお気に入り

LA PREMIER

ヨーロッパのエレガンス・ランバン

お客様＝高見恵美子さん

女性が外で働く機会は多くなっているがファッションに関しては、まだまだ限定されている。特にハイクラスのキャリアウエアというと、テーラードスーツなどの固いイメージになりがち。新鮮で飽きのこないランバンのスーツは大人のキャリアウエアとして、ヨーロッパのエレガンスを感じさせる。

高見さんは税理士をされているご主人の良きアシスタントとして、毎日忙しく走り回っている。ご夫婦揃ってのお出かけも多いので選ぶファッションにもご主人の好みが入ることも。基本的に自分にあったシルエットのものなら自分のおしゃれに取り入れてしまうのでアドバイスもしやすい、と相生店長。今日のグレーのスーツも無地のようだが、よく見ると微妙な織り柄になっている。衿のデザインがソフトな雰囲気を醸しだしているのでスーツの固苦しさが無い。「本当に気に入ったものを…」と思っているので喜んで着ていただ



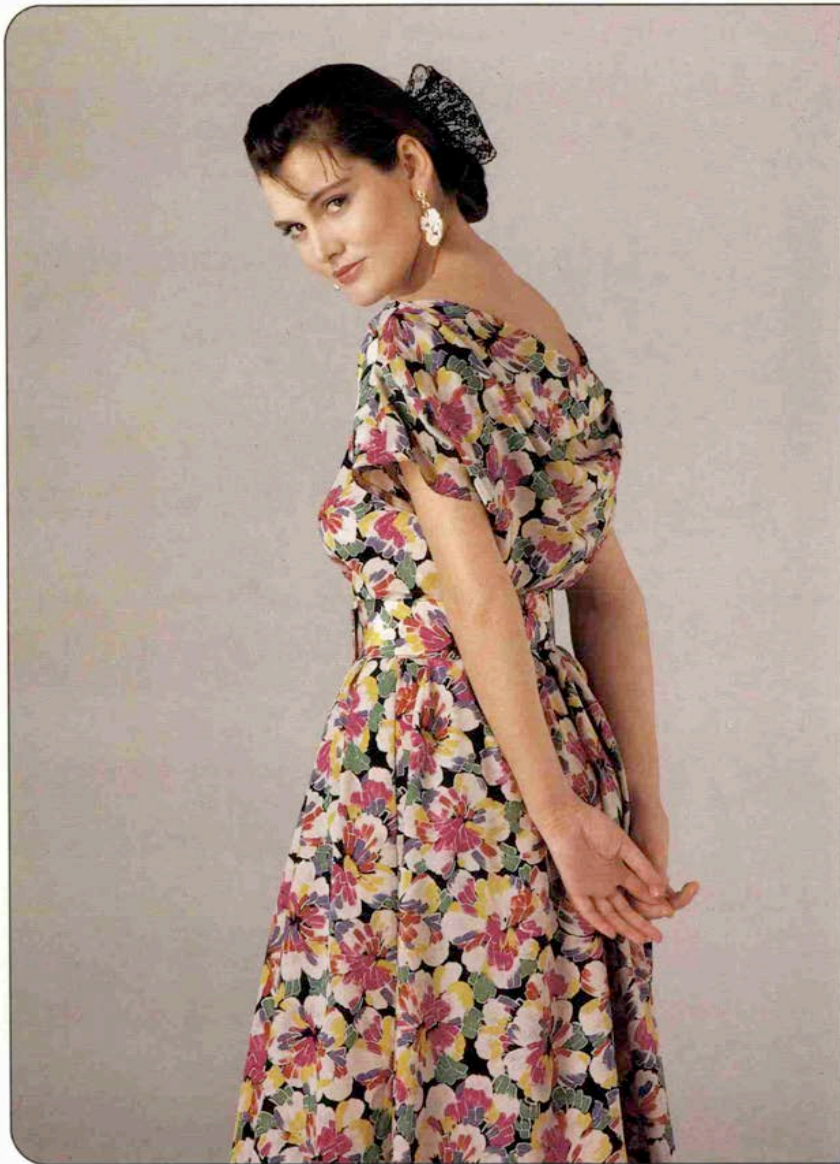
くのが一番嬉しいですね。今年の春は綺麗なプリントのワンピースで華やかでモダンな着こなしがおすすめです。」と早くも次のファッションに花が咲いていた。

新館5F

 **SOGO**
SANNOMIYA KOBE

ROYAL SALON
パレロアリアル

ブティック・プロムナード③



LANNVIN
PARIS



SISTER CITY of KOBE

POETRY IN SEATTLE

Photograph by Masao Kobayashi

●シアトルの3月

神戸の町づくりの 原点がシアトルに 水谷 顕介

〈都市計画家・建築家
計画同人TUR・水谷研究室主宰〉

シアトルへは、2回訪問した。はじめが、モントリオール万国博の見学とアメリカ計画家協会の50周年シンポジウムに出席の途上、1968年にはじめてアメリカの都市に足をはこんだ時である。空港から都心への高速道路の沿道風景からはじまって、都市景観すべてが、新鮮だった。港に沿って走る高架道路を見て、これが原元市長の港づくり・町づくりの原点だな、と判断した。シアトル博跡地までのモノレールにも感心した。その上手のティーン・アン住宅地も目を楽ませてもらった。

今回は、エアポート・コミュニティ調査の時、マルセル島浮橋を経由して、ジャンボ機建造にとりかかっていたボーイング航空機工場を見学した時である。



KOBE EXCELLENT SHOP

★よろず御機衣縫上處

神戸シャリ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

★選りすぐった一点を…。

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707

★世界のチョコレート

一番館

神戸市中央区元町本通1丁目8-5 ☎391-3138

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737～9

★世界のオシャレをお届けする

ウネ

神戸市中央区元町通1丁目4-13 ☎331-3112

★婦人帽子

maxim マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★伝わる真ごころ手づくりの風格

柴田音吉洋服店

神戸市中央区元町通4丁目2-22 ☎341-0693

★舶来品ブティック

アスターニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

※このシリーズは上記9社の専門店
の提供によるものです。



クィーンアンヒルの住宅街



1階展示室にて。モデル——〈まさ宝塚店〉お客様、小川佳美さん。スーツ/アルページュ ¥43,000

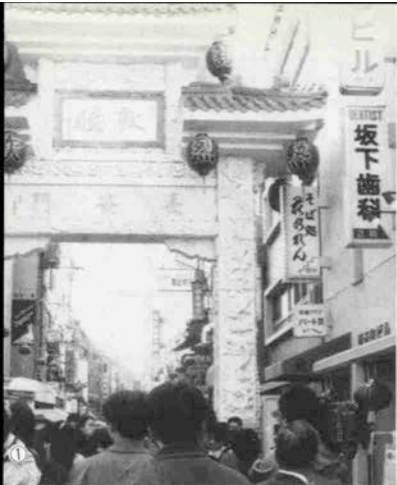


異人館……ハリウッドスターウェイ

明治時代に建てられた旧ヒルトン邸。近年までパナマ領事館として使用されていましたが、最近映画異人館として一般公開されました。日本映画発祥の地神戸だけに優れた収集品ばかり。1階にはフランシス・コッポラ監督の使用したミッチェル35カメラをはじめ50~60年代の映画機を、2階には各時代の有名映画のポスターを展示。40年代NYの映画館街タイムスクエアで記念撮影もできます。



さ ん ち か 店 (078) 321-4545
 宝塚ファミリーストア店 (0797) 73-5359
 千里阪急地下街店 (06) 831-0756
 須磨パティオ店 (078) 792-5652
 加古川店 (0794) 25-5514
 E / H / T I Q U E (078) 331-0950



① 壮大な大理石製の門 ② 元町商店街に突如巨大な竜が出現ノ ③ 陳徳仁 神戸中華総商會々長の挨拶 ④ テレビでおなじみ孫悟空もひょうきんに踊る

★40メートルの竜が 南京街を舞う!

●コウベスナップ

★小磯芸術60年の歩みは KOBEモダニズムの開花

神戸の南京町で、1月29日より2月1日の4日間に渡り、『春節祭』が行われた。中国本土では現在も旧正月を祝う風習があり、在日華僑の人々も、個々の家では旧正月を祝っていたが、南京街を揚げての祭りは今年が初めてである。1月29日のオープニングには、中国より取り寄せた40メートルの竜が披露された。当日は『中華グルメ共和国』の独立も宣言され、中央広場には立錐の余地も無いほど人々が集まり『春節祭』を祝った。

1987年が開幕する美術界のトップを飾って、1月15日～2月15日まで、兵庫県立近代美術館において小磯芸術の60年のあゆみを網羅した代表作150点を集めた「小磯良平展」が開催された。83才を迎えられた小磯画伯の、ひたむきな制作姿勢と昭和モダニズムの、また神戸モダニズムを創造した都市文化の魅力が、その多くの女性像に見られ、そこに息づく「神戸の女たち」はのびやかで近代女性の美が溢れている。

① 熱心に見入る金井元彦兵庫県立美術館館長と② 高齢にも拘らず創作意欲満々の小磯画伯 ③ オープニングパーティー会場



①

②

③

Hyogo Walk

マンガ・高橋 孟



真摯な信仰と庶民活力あふれる 宝塚・清荒神

小雪が舞い散る寒さのなか、今回の兵庫ウォークは、宝塚の清荒神と尼崎の大覚寺を訪ねました。

火の神、かまどの神として庶民の厚い信仰を得ている清荒神は、実は「清澄寺」の境内に祀られた三宝荒神で、仏・法・僧の守り神でもあるとのこと。平安時代の昔、宇多天皇の御代に理想の鎮護国家を実現すべく勅願寺の一つとして創建された清澄寺ですが、江戸時代に金堂が全焼し、現在の位置に再建されました。境内の面積が、昔の半分以下になってしまった今でも、駅から山門までの参道は約一・二kmもあり、往時の広大さを偲ばせています。

毎年一月二十七・二十八日には初三宝荒神大祭があり、多くの参詣者が来山。商売繁盛、家内安全など現世利益を祈願する老若男女であふれま

す。また四月二十七・二十八日には、訪れる人々を華やかな絵巻の世界に誘う春季大祭があり、美しく清らかな喜多寿女が人気を呼びます。

意外に知られていないのが本堂の奥にある「鉄斎美術館」。昭和五十年の開館以来、先代法主光浄和上の遺志を継いで収集された画聖「富岡鉄斎」の作品が展示されてきました。その数は約千点に及んでいます。その画風からにじみ出る人間愛は、鉄斎の手柄そのままに観る人を暖かく包みこむようです。

行きは登りで少し長く感じられた参道も、出店を見ながら帰ると下りのためかアツという間。冬の寒さもしばし忘れ、人の温もりをほのぼのと感じさせられました。

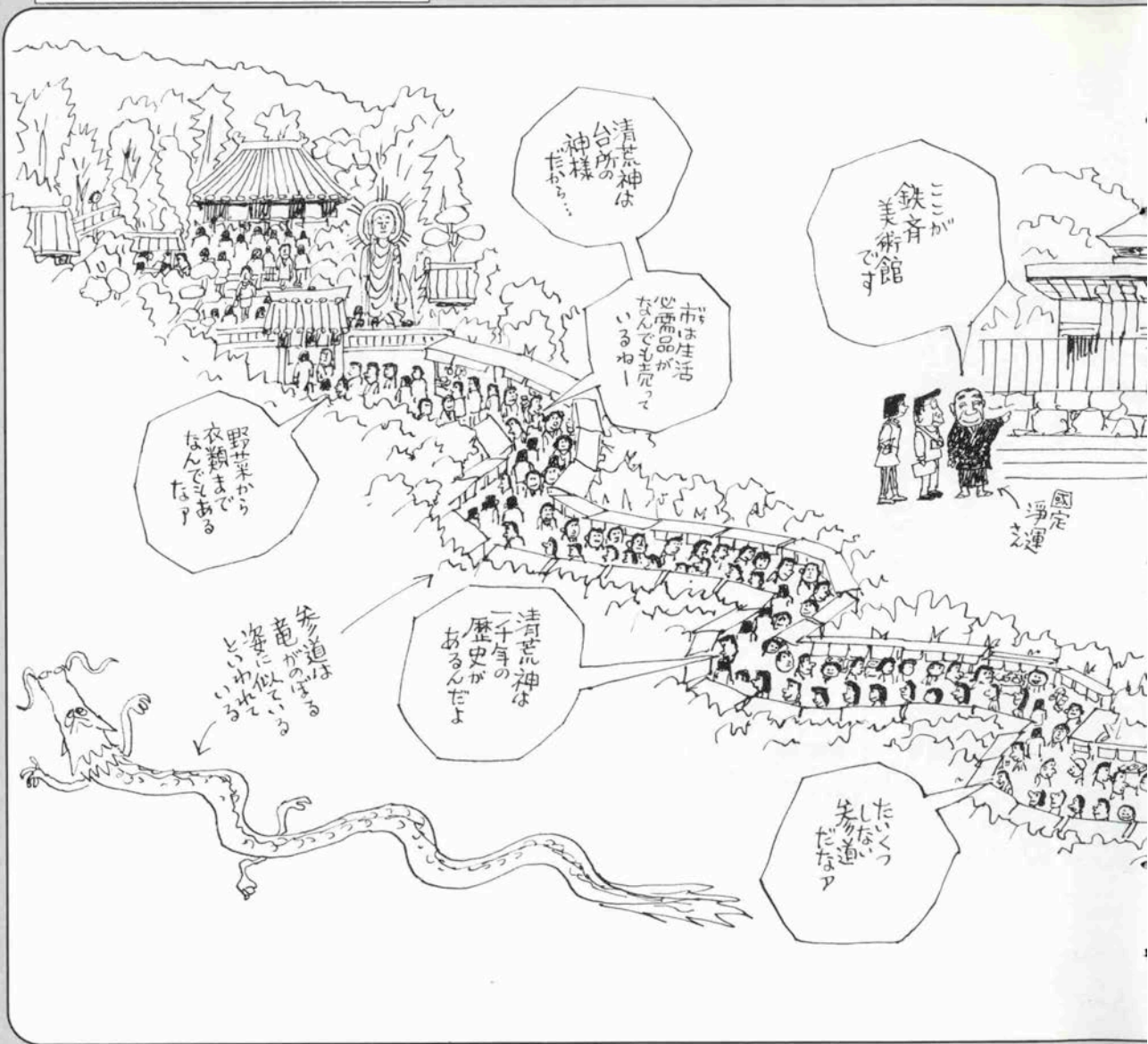
■清荒神清澄寺/阪急宝塚線
清荒神駅より徒歩約15分



鉄斎は偉かったんじやア

お参りをさきにしてから四角いおみくじを





清荒神は
台所の
神様
だから...

市は生活
必需品が
なんでも売って
いるわー

ここが
鉄斎
美術館
です

野井菜から
衣類まで
なんでも
なア

清荒神は
二十年の
歴史が
あるんだよ

矢野道は
龍がのぼる
姿に似て
いるとい
われる

矢野道
は
たいてい
だなア

国定
浄運

伝統芸能“身振り狂言”を守る 尼崎・大覚寺

尼崎の大覚寺は、創建六〇五年といわれており、由緒のあるお寺です。

二月三日の節分会は、年中行事の中でもとりわけ賑やかで、一日に約二万人もの人出があります。豆まき、餅まきは節分には欠かせませんが、毎年オーストラリアの女子留学生も『福男』に扮し、豆をまくとあつてなかなか国際的。境内は、福にあやかろうとする人々で大変な混雑ぶりです。

また、もう一つの呼び物は、京都の壬生寺の流れをくむ、身振り狂言です。大覚寺内に伝わる古文書では天保十一年にすでに奉納していたこの狂言も、一時は存亡が危ぶまれていました。しかし、昭和二十八年から再開され、現在に至っています。後継者と地元の人々の気持ちさえしつかりしていれば心配はないとの住

職の言葉は、淡々とした中にも伝統芸能への理解と愛情がにじみ出て印象的。

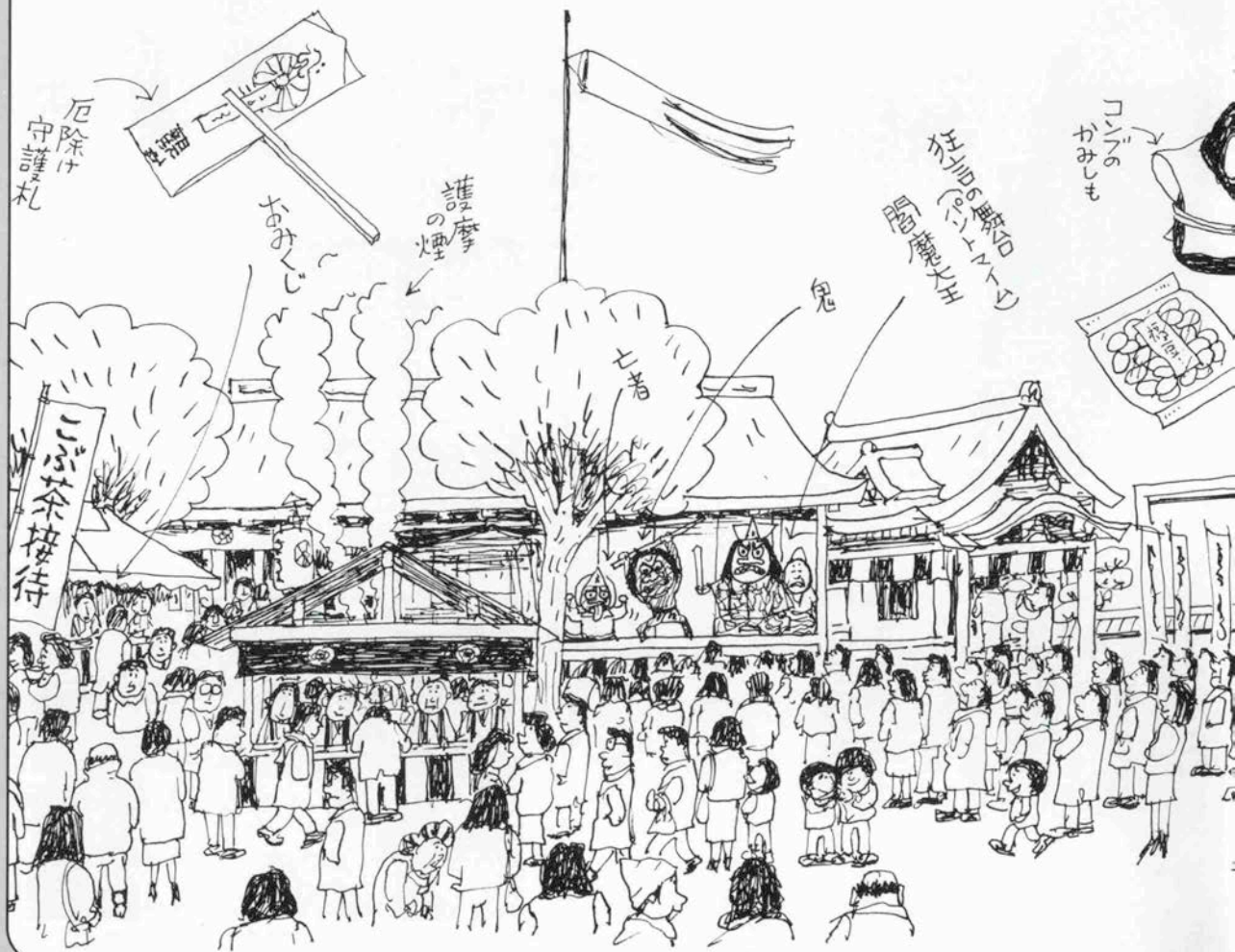
演目は『節分(厄払い)』、『橋弁慶』、『毘魔守』の三目。単調なテンガン鉦と締太鼓の唯が奥深い効果をあげ、見る者を狂言師が創る世界にひきこみます。単純な音、動作が、見る側のイメージをより一層ふくらませます。身振り狂言が子供たちにも愛され存続している所以でしょう。この狂言師も実は壇家の方々が引き継いで演じられていたそう、九歳から六〇歳まで役柄に応じ熱心に参加されています。節分会の準備は昨年十月から始まったそうですが、地元住民の揺るぎない支援が今後もこのような伝統行事を盛り立てていくことでしょう。

■大覚寺/尼崎市寺町九番地
阪神尼崎駅より徒歩約5分



阪神間の主な祭礼行事 (3、4月)

- 多田神社 川西市源氏まつり懐古行列 川西市多田院
(交通) 能勢電鉄多田駅下車西へ1.8km
- 聖天寺 宝塚聖天春季大祭 宝塚市宝塚
(交通) 阪急電車逆瀬川駅から阪急バス光ヶ丘行き 聖天寺下 下車すぐ
- 中山寺 無縁経大会式 宝塚市中山寺
(交通) 阪急電車中山駅下車徒歩15分



厄除け
守護丸

おみくじ

護摩
の煙

七草

鬼

お加6 熊川
(おに) エントウ
熊川 熊火井

コシロの
かみしも

こぶ茶接待

おまんこ